

研究講習事業報告

学発番号: 学22-024★(日臨技推進事業)
事業名: チーム医療研究班 2022年度 第3回R-CPC(症例検討会)【事前申込制】
日時: 令和4年12月19日(月) 18:30~20:30
場所: 京都保健衛生専門学校
主 題1: R-CPC 検査結果から見えるもの～上級編～
症例提示者 横山 健輔 技師(京都桂病院)
パネリスト① 三宅 穂高 技師(京都民医連中央病院)
パネリスト② 市川 淳也 技師(京都岡本記念病院)
参加数: 総数:39名(京臨技会員:30名)
報告者: 齊藤 祐巳子(京都大学医学部附属病院)

以下、講演内容など

今年度第3回目のRCPC研修会は上級編として大変難易度の高い症例を2例提示され、2名のパネリストとともに検査結果から病態を紐解いていきました。今回も事前に参加者に検査データを配布してそれぞれにRCPCを行っていただきました。上級編としてふさわしく難易度の高い病態に加え、溶血や乳び、抗凝固剤混入の影響により偽値となった症例を提示されました。ひとつひとつ読み解いていくことで腑に落ちていく過程は大変興味深く、得られたデータを漫然と見るのではなく、検体の状態の観察や整合性の取れないデータに対して疑問を持つことの重要性を再認識できた研修会となりました。

通常報告